

皇朝律例彙纂

近藤圭造編著

卷五

6

7 13

6431

6



門 213
卷 6431
56

皇朝律例彙纂卷五目錄

罵詈律 計五條

罵人
罵本屬長官
罵家長

罵有服尊長

罵祖父母父母

訴訟律 計八條

越訴
承告不理
聽訟回避

皇朝律例彙纂卷五目錄

罵詈律 計五條

罵官吏 四條

罵祖父母父母 一條

訴訟律 計三條

皇朝律例彙纂

卷五

目錄

昭和十七年
十一月廿六日
購求

誣告

干名犯義

子孫違教

教唆詞訟

官吏詞訟

受贓律 計二十條

官吏受財

坐贓致罪

事後受財

聽許財物

以財請求

誣告 一條

干名犯義 一條

子孫違教 一條

受贓律 計四條

官吏受財 一條

事後受財 一條

以財請求 一條

官吏求借財物

家人求索

因公科斂

剋留盜贓

受外國人餽送

詐偽律 計九條

詐為官文書

對詔上書詐不以實

偽造官印

偽造寶貨

偽造斛斗秤尺

受外國人餽送 一條

詐偽律 計十四條

詐為官文書 一條

對詔上書詐不以實 一條

偽造官印 一條

偽造寶貨 十條

偽造私印

詐稱官

詐稱病死傷

詐教誘人犯法

犯姦律計五條

犯姦

親族相姦

姦家長妻女

姦部民妻女

居喪及僧尼犯姦

詐稱官 一條

犯姦律 計九條

犯姦 一條

親屬相姦 一條

姦家長妻 一條

姦部民妻 一條

居喪犯姦 一條

犯姦條例 四條

○滋賀縣伺 罵詈 人隨若兩罵詈 人隨若兩罵詈 人隨若兩罵詈

○首七 三從年候 三從年候 三從年候 三從年候 三從年候

○皇律例彙纂 仍既シノ之然ニル滋三從年候 仍既シノ之然ニル滋三從年候 仍既シノ之然ニル滋三從年候

皇朝律例彙纂卷五

三河近藤圭造編著

罵詈律

罵詈律 罵詈律 罵詈律 罵詈律 罵詈律 罵詈律 罵詈律 罵詈律

○ 誦年十一月二十日指令
 後ハ之ヲ聽ス和ト官ニ發ス止
 做ス後ハカヲ私ト官ニ發ス止
 誦年十一月二十日指令
 後ハ之ヲ聽ス和ト官ニ發ス止

○ 誦年十一月二十日指令
 後ハ之ヲ聽ス和ト官ニ發ス止

○ 凡^ニ人^ヲ罵^ル者^ハ。各^ハ答^ハ一^ト十^ノ。互^ニ
 相^ニ罵^ル者^ハ。各^ハ答^ハ一^ト十^ノ。互^ニ
 廣^ニ島^ニ縣^ノ伺^ト捕^亡費^定額^ノ申^付内^ニ
 當^ニ縣^ノ伺^ト捕^亡費^定額^ノ申^付内^ニ
 等^ノ外^ノ吏^ニモ^モ無^シ者^ハ若^ク御^付
 座^ニ候^所此^ノ輩^ヲ罵^ル者^ハ時^ハ御^付
 亦^モ捕^亡職^ノ權^{アリ}者^ハ其^ノ時^ハ御^付
 緞^令其^ノ品^格卑^シ者^ハ其^ノ時^ハ御^付
 職^令其^ノ品^格卑^シ者^ハ其^ノ時^ハ御^付
 凡^ニ人^ノ罵^ル者^ハ。各^ハ答^ハ一^ト十^ノ。互^ニ
 八^年月^五日^指令^可然^哉。但^シ
 凡^ニ人^ノ罵^ル者^ハ。各^ハ答^ハ一^ト十^ノ。互^ニ
 捕^亡者^ハ職^務ヲ^行テ^論ス^時同^ク
 罵^ル者^ハ職^務ヲ^行テ^論ス^時同^ク
 論^ス者^ハ職^務ヲ^行テ^論ス^時同^ク

○ 依^七職^七
 年^二月^十日^指令^ハ親^ニ
 務^上罪^於擬^ス外^シ等^親
 水^澤縣^同擬^ス外^シ等^親
 凡^ハ平^民本^屬長^ヲ罵^ル者^ハ
 者^ハ平^民本^屬長^ヲ罵^ル者^ハ
 人^ノ罵^ル者^ハ平^民本^屬長^ヲ罵^ル者^ハ
 同^ク罵^ル者^ハ平^民本^屬長^ヲ罵^ル者^ハ
 七^年同^ク罵^ル者^ハ平^民本^屬長^ヲ罵^ル者^ハ
 伺^ト罵^ル者^ハ平^民本^屬長^ヲ罵^ル者^ハ

○ 置^賜縣^伺七^年三^月十^三日^指令^ハ
 指^令ハ
 七^年三^月十^三日^指令^ハ
 指^令ハ
 七^年三^月十^三日^指令^ハ
 指^令ハ

皇律 卷五 罵詈律 罵本屬長官 罵官吏律

罵官吏律

○依者ト番人、平民、職務身分、取扱ハ、平民、同シ、職務上、廿、罵、凡、七、條、罵、

○七、例、白、川、第、二、百、三、十、七、條、凡、平、民、

○七、例、三、月、十、七、日、指、令、可、然、哉、

原罵本屬長官律

第二百三十四條 凡勅任

官ヲ罵ル者ハ。懲役一年。

奏任官ヲ罵ル者ハ。懲役

九十日。判任官ヲ罵ル者

ハ。懲役六十日。並ニ親ラ

聞テ。乃坐ス。

罵官吏條例

第二百三十五條 凡判任

官。勅任官ヲ罵ル者ハ。懲

役六十日。奏任官ヲ罵ル

○本七年、可然哉、

○七、例、三、月、十、七、日、指、令、可、然、哉、

○加、兩、七、心、得、哉、

○七、例、三、月、十、七、日、指、令、可、然、哉、

者ハ。懲役四十日。並ニ親

ラ聞テ乃坐ス。

第二百三十六條 凡奏任

官。勅任官ヲ罵ル者ハ。判

任官。奏任官ヲ罵ルト。罪

同シ。其勅任官。奏任官ヲ

罵リ。及ヒ奏任官。判任官

ヲ罵ル者ハ。並ニ凡人罵

リ。以テ論ス。網領ニ見

第二百三十七條 凡平民。

皇律例彙纂

卷五

罵官吏

罵官吏

三

百工技藝子弟其受業師何レヲ
罵ルノ條無之可然哉ハ指
七年十月二日ハ口令
妻ノ夫ヲ罵ル者ハ僧尼ノ口令
業ヲ以テ罵ル者ハ伯叔父姑ノ口令
師ヲ罵ル者ハ師ヲ罵ル者ハ
弟ノ受業同業ヲ罵ル者ハ
兄弟ノ業ヲ受テ罵ル者ハ
二者ノ權衡ニ依リ凡ハ罵
者ノ權衡ニ依リ凡ハ罵

有等トハ一等親類ノ
五等トハ二親類ノ
懸ルベキ人ヲ罵ル
凡卑幼四等親ノ尊長及
妻ノ父母五等親ノ尊長
此律ニ於テハ四等親ヲ罵
ト同律ニ於テハ四等親ヲ罵
者ハ笞五十三等親ノ尊長
ハ杖六十若シ兄弟ノ尊長
者ハ杖九十伯叔父姑外祖
父母ハ杖一百叔父叔母ハ
クニ等親ノ尊長トハ杖一
依リテ科ニ輕重ヲ立

○新治裁判所
新治裁判所
新治裁判所
新治裁判所

ノ罵ルト罪同並ニ尊長ノ
親ヲ告ルヲ待テ乃坐ス
罵祖父母父母
凡子孫祖父母父母ヲ罵リ
及ヒ妻妾夫ノ祖父母父母
ヲ罵ル者ハ普通ノ親類ノ
リ。祖父母ハ一等親類ト
ヒ。祖父母ハ一等親類ト

キ尊長ナリ。妻妾ハ。夫ニ並
 流三等。祖父母父母ノ親
 ラ告ルヲ待テ。乃坐ス。
 罵祖父母父母。條例
 第二百三十八條 凡子孫。
 祖父母父母ヲ罵リ。及ヒ
 妻妾。夫ノ祖父母父母ヲ
 罵ル者ハ。流三等ニ處ス
 ル律ヲ改メ。並ニ懲役三
 年。

○司法省伺
 壬申十一月
 之紙通各裁判所府
 縣上別達及候就テハ
 越訴律被止度若シ強有
 等係別紙御布告案差添
 之候間也。紙御布告案差添
 相伺候也。紙御布告案差添
 六、八月二十日御指合布告
 候、事、趣、第、百、九、十、八、號、布、告
 六、年、八、月、十、二、日、第、二、百、九、十、號、御、指、合、布、告
 八、號、御、指、合、布、告
 訴、律、內、越、訴、條、廢、止、候、條、此
 旨、布、告、候、事、

凡吏卒軍民詞訟スルニ本
 管我配ノ官司ニ由ラスシ
 テ。輒ク上司ニ越訴スル者
 ハ。實ヲ得ルニ証ルハ。人
 ナリ。氏。テ。ト。雖モ。答。三。十。本
 管ノ官司。受理セ。及ヒ。枉
 斷テ。捉。捌。スル者ハ。上司ニ
 越訴スル者

陳告スルヲ許ス。若シ理匭ニ文書ヲ投物書キ
 込ムル事ヲ申訴シテ實ナ
 ラサル者出タルニ偽リテ申
 告律ニ依テ論ス。實ヲ得ル
 者ハ罪ヲ免ス。
 承告不理
 凡人命及ト強盜等ヲ告ル
 強盜人殺シニ官司ノ
 職ヲ司ル即時ニ受理セサ
 ルモ

ル者トナリ上刑ハ杖七十。鬪
 毆婚姻田宅等婦人合婚ト
 等ノ出入敷ノ事ハ各犯人
 ノ罪ニ二等ヲ減科等ノ
 ニモノヨリ減シ並ニ罪杖
 七十止ル。財ヲ受ケテ受
 理セサル者ハ贓ニ計ヘ枉
 法ヲ以テ重キニ從テ論物財
 ヲ貫テ其科ノ人ノ物ヲ
 カガレテ罪ノ當レ承告
 不_レ理_ト假_ト令_テ較_メ重_キ方_ニ
 取_リ下_ニ受_シシ_テ枉_テ法_ハ杖_六
 以_テ受_シシ_テ枉_テ法_ハ杖_六
 承告不理

○情七
例濱ヲ年律其理乏ノハラ、村已新ヲ役反ヒ、証ノテ日
二田量ニヲ人セ處罪郵官等ノ治原七生巳告罪無指
百縣リ、月以ヲナ其ヲ便吏ノ名裁諒十日未ル告ノ令
三伺不十テ、捉ル、匿許函ノ名名判シ、日ト決者ル人
十應二處獲ヲ名告等門ヲヲ所贖ノア決者ハ、者ヲ、
九為日分スヲタスニ牆題隱ヲ處ルヲ問ハ、罪者、常
條、輕指致ル揭ル者入ニシ、聽其ヲ過以ハノ本人盜
云々、重令ス、可ハ、ス、以、頻シ、投ル止、誤、論告重四
原罪ス、ヤ、ノシ受有人或書郡、出シ、人、人、圓

事ハ。虚^キ科ハ。實^シ二事以上ヲ告ルニ重
事ハ。實^シ二事以上ヲ告ルニ重
若シ二事以上ヲ告ルニ重
人ヲ流ナリ等ハ。一等ヲ減ス。
セサル者^レ未^レバ。云殺ヒサケ前ナ
死罪ニ証告シテ。未^レタ處決
付^ルス。掛タル科ヲ申シ其
反^シ坐云云。掛タル科ヲ申シ其
配^セサルヲ問ハス。告人ヲ
配^セサルヲ問ハス。告人ヲ

皇律例彙纂 卷五
者明ナセノ如ル第十
=白リ、ハ、証キモ一年何良人ノヲ迷ル方買盜行候實
非ナ律即告ハ加項四處氏ヲ罪本惑、拷得ハ上、所決
ルニテ盗等証月斷ノ証ヲ規ノ次ニノルノ露節者、加
ハ、其重事スノスハ、第十候トノ避ミ、第於上、所財ノ一、加
携招重事スノスハ、第十候トノ避ミ、第於上、所財ノ一、加
訊承罪實被常第原日テ可弊ス科箇様ハ、情トハ、合有ノ例
セニヲハ、証狀ニ項實決、裁、右、ハ、自無ハ、告外証シ、ヨリ、盜相
トセシ、ララシ、推テ、文ニ、ハ、自無ハ、告外証シ、ヨリ、盜相
云々、賍判推テ、文ニ、ハ、自無ハ、告外証シ、ヨリ、盜相
フ、證然問真ノ該、如然罪己人致ラ雙リ其ヲ見

証告
事ハ。實ニシテ。重事ハ。虚。或
事ハ。實ニシテ。重事ハ。虚。或
若シ二事以上ヲ告ルニ重
事ハ。實ニシテ。重事ハ。虚。或
重ト爲ス者ハ。並ニ剽ル所
反^シ坐ス。云云。カケノ罪ハ。ソ
コノ云云。カケノ罪ハ。ソ
引去^ル者ノ實科云云。カケノ
引去^ル者ノ實科云云。カケノ
當^ル分テ。告ル者ノ科云云。カケノ
當^ル分テ。告ル者ノ科云云。カケノ

皇律例彙纂 卷五 証告 九

○非誣因

右有書徒事、同ル於テモハ一若ハ配ハ本白ス、テテ
 竊之許二實人條ハテ乙ヲ甲圓シシ、罪條、凡縣者ノ如キ
 盜、此不、年ナヲ告第、五言ニスヲ、槌ノノヲ決重人
 毆ノ實、律及サル、項ヲ告ト乙、棒罪人反配ニヲ
 傷權、衡ニハルニ、依サ者、已ニ、俟タテ私、以誣シ、有之、問決者
 誣ニ依、テ、ル者、坐、奏ノ聞、上、然、坐、ルア、毆、シ、傷、或、盜、之、間、決、者
 ヲハ、ト、上、罪、シ、書、處、ス、ニ、ソ、ッ、傷、或、盜、之、問、決、者
 其一人以上ヲ告ルニ、但
 一人實ナラサル者ア、レハ、
 罪輕シト雖モ、猶ホ其罪ニ
 反坐ス。
 二人以上ノ内モ、一人テ
 二人以上ノ内モ、一人テ
 二人以上ノ内モ、一人テ
 二人以上ノ内モ、一人テ

○罪書 = 誣七

本七
 條年告種ヲ賞、滋ニシ依告年テ者ル告書書ニ、レ詐ノ
 =七、ス、其、罪、譽、賀、シ、テ、テ、ス、六、科、ハ、者、ル、及、詐、及、ハ、テ、如
 照、月、ル、他、ニ、フ、縣、テ、人、處、ル、月、斷、懲、ハ、ニ、不、ハ、反、實、キ
 シ、十、者、諸、陪、貪、同、本、フ、分、者、二、可、後、懲、ハ、ニ、不、ハ、反、實、キ
 告三、如、規、シ、ラ、文、告、ス、反、十、然、八、役、懲、ハ、ニ、不、ハ、反、實、キ
 人日、何、則、ト、シ、ト、ル、ヘ、坐、日、哉、十、一、實、ヲ、除、例、ハ、懲、セ、上
 =指、フ、ス、ト、異、云、シ、ノ、指、ト、事、以、テ、外、對、對、ハ、者、ル、告
 反、令、犯、ル、シ、ナ、リ、官、五、第、一、項、ノ、上、以、キ、ナ、ニ、上、日、テ、
 坐、ス、ト、リ、ハ、吏、項、ノ、上、以、キ、ナ、ニ、上、日、テ、
 罪ノ
 囚ノ
 三ノ
 減ノ
 罪ノ
 杖ノ
 一ノ

○ 七口上何七 ○ 二諸
 供ハ品年估大諸
 シシ現數十計分罰
 ヲヲ審品十一ス縣則
 反明ナヲ月ハ人ノ
 坐シシ盗八キヲ罰
 ノ評トム日駐竊金
 罪價雖ト指呂盜ヲ
 名人モ証令ナニ以
 ヲニ証告ス者告ヘ
 定估者ス者告ヘ
 ハ計ノル伺シ

百
 心囚人ノ身寄
 得ナリ身寄
 ノヨル身寄
 シハ訟者
 渡ス段レヨ
 ナナ下バ
 リソ不
 何

第
 二百三十九條
 凡收贖

証告條例
 上ハ重申付
 申付
 扶因
 一人
 ノ得
 科ナ
 リ

テ。贖罪ニ反坐罪ヲ收贖ニ贖
 ノスハ罪同シバ云リス。

○ 贖罪
 敦賀縣區
 代或ハ他代
 訴非ハルモ人
 刑法ハ反アル
 付刑人上ニ坐
 代言刑人上ニ坐
 受理不及儀
 九年通月二
 テハ通月二
 成尤ハ通月二
 第十代代
 事

○ 八
 同付
 相付
 甲申
 事

○ 愛媛縣
 士族養子
 以ハ養子
 抑子孫父子
 義ヲ干犯スル
 再三人倫ノズ大
 道親子ノレハ名

○ 贖罪
 敦賀縣區
 代或ハ他代
 訴非ハルモ人
 刑法ハ反アル
 付刑人上ニ坐
 代言刑人上ニ坐
 受理不及儀
 九年通月二
 テハ通月二
 成尤ハ通月二
 第十代代
 事

若レ己ノ罪ヲ避ク
 規リ人ヲ証告スル者ハ
 原罪收贖罪ニ該ルト
 雖モ反坐罪ノ贖
 聽カサス。自
 被タリ。直當ニ科申シ
 者ハ直當ニ科申シ
 付ル。婦女ノ犯ス者モ亦
 此例ニ依ル。

千名犯義

名ケ夫ト付テ上尊卑
 名ハ婦ト付テ上尊卑
 名ハ君臣父子兄弟
 名ハ類父ト付テ上尊卑
 名ハ類父子兄弟

皇
 律
 刑
 罰
 卷
 五
 証
 告
 干
 名
 犯
 義
 十
 一

分説論已レ情實陳建引
テ原ノ被實ヲ推問承
モ人テ原被實ヲ推問承
ハ此ノ實ヲ推問承
ルキト雖モ人テ原被實ヲ推問承
如キ盗ノ跡中露此原ノ得罪
人九餘ナリ則二此原ノ得罪
金之ヲ分テ孫父名俱此原ノ得罪
義律照ル子孫父名俱此原ノ得罪
士族付聞刑モ徒年ヲ名俱此原ノ得罪
將ヲ盜ス刑モ徒年ヲ名俱此原ノ得罪
干名以テ除者破且甚
判然二義ノ半者破且甚
年七難相伺候也スル
孫父三日月告義
破名祖月二父三日月告義
年七難相伺候也スル
判然二義ノ半者破且甚
干名以テ除者破且甚
將ヲ盜ス刑モ徒年ヲ名俱此原ノ得罪

凡子孫父母父母
妻妾及夫祖父母
母者告者親屬
其者上科
得申雖上科
凡子孫父母父母
妻妾及夫祖父母
母者告者親屬
其者上科
得申雖上科
凡子孫父母父母
妻妾及夫祖父母
母者告者親屬
其者上科
得申雖上科

○

但モ竊盜罪輕レハ追シト
雖モ主給伺可レキハ追シト
テ都使判所給伺可レキハ追シト
京拓使判所給伺可レキハ追シト
開七使判所給伺可レキハ追シト
姦云々ノ疑問ニ養父其養女ト
妻義ヲ以テ疑問ニ養父其養女ト
犯ハ義御回論シ夫妻ハ罪然
問干名犯ハ義御回論シ夫妻ハ罪然
親免尊長ハ首條二罪自
首免尊長ハ首條二罪自
候所干名犯ハ義御回論シ夫妻ハ罪然
ルノ正條及ニ離義人限リ之
候所干名犯ハ義御回論シ夫妻ハ罪然
ルノ正條及ニ離義人限リ之
テ然ハ傷等可キ親ノ果更
長然ハ傷等可キ親ノ果更
言入ラハ傷等可キ親ノ果更
二言入ラハ傷等可キ親ノ果更

シ二等親尊長及外祖
父母ヲ告ル者ハ實ヲ得ル
ト雖モ杖九十三等親ノ尊
長ハ杖八十四等親ノ尊長
ハ杖七十妻ノ父母ハ杖六
十其告ラル二二三等親
ノ尊長及外祖父母若ク
ハ妻ノ父母ハ並ニ自首
同ク罪ヲ免ス祖父母及
ハ二三等幼者云々申尊長
出罪ハ二三等幼者云々申尊長
ガ出罪ハ二三等幼者云々申尊長

皇律 卷五 訴訟律 十二

七律 一年一月二十日減等不可
開拓使問合ノ答ハ再議ハ
依リ養父養女ヲ裁スル者ハ
前夫ノ養女ニハ千名ノ義依
リ各懲一ノ年ニシテハ
以テ論シ、及ヒ懲一ノ年ニシテハ
損傷ニシテハ、卑幼ノ義依
通傷ハ、千名ノ義依
毆傷ハ、千名ノ義依
尊長ハ、千名ノ義依
親尊ハ、千名ノ義依
○親尊幼毆通損ヲリ前依開七
親尊ハ、千名ノ義依
妻妾ハ、千名ノ義依
婦人ハ、千名ノ義依
以テ論シ、及ヒ懲一ノ年ニシテハ
損傷ニシテハ、卑幼ノ義依
通傷ハ、千名ノ義依
毆傷ハ、千名ノ義依
尊長ハ、千名ノ義依
親尊ハ、千名ノ義依

若クハ二等親以下ノ尊長
養父母其所生父母ヲ殺シ
其嫡繼母父ノ後妻又所生
母實母ノ其父ヲ殺シ及ヒ
増シテ罪流三等ニ止ル
カケテシタル科又三段ヲ
義ノ罪ヨリ重ケレバ云ヒ
ハ、モレ尊長ノ科ヲ云ヒ掛
各誣ル所ノ罪ニ三等ヲ加
ス。若シ誣告ノ罪重キ者ハ
ノ尊長ハ本罪ニ三等ヲ減
者ノ科ハ、誣告ノ罪重キ者ハ
ルト同ジナリ其四等親

第十名者モ、犯義中、妻妾ノ夫ヲ告
ル者モ、例ニ同ク、収贖ヲ罪不
サ、孝者ノ例ニ同ク、収贖ヲ罪不
七年六月十日三日指令ヲ折傷
以テ罪論セサレハ、妻妾折傷
訴下罪ヲ論セサレハ、妻妾折傷
科トス、雖モ、折傷以上ハ、伺
通、

ニ。財產ヲ侵奪セラレ。或ハ
其身ヲ毆傷セラレテ。卑幼
ノ自訴ス可キ者ハ、並ニ告
ルヲ聽シ。告ラル者ハ、各
本律ニ依テ之ヲ科ル。如キ
ハ。申シ出ルル者ハ、子細ナリシ
ノ科アル者ハ、夫々ノ律ニ
ヨリテ科ス。千名ノ犯義ノ
限ニ在ラス。卑幼ノ告ラル
モ。亦同。尊長ノ者ヨリ申
若シ卑幼ヲ告ケ實ヲ得ル
者。二等三等親ノ卑幼及ヒ

女婚モ亦自首ニ同ク罪ヲ
 免ス申シ出タル尊長ヨリ
 ノ婚ナレバ自訴シタルト
 同シク罪ヲ免メ申シ出シ
 タル尊長四等五等親ノ卑
 ハ科ナシ四等五等親ノ卑
 幼ハ本罪ニ三等ヲ減ス誣
 告スル者二等親ノ尊長ハ
 誣ル所ノ罪ニ三等ヲ減シ
 三等親ノ尊長ハ二等ヲ減
 シ四等五等親ノ尊長ハ一
 等ヲ減ス云カケハ尊長
 疎ニ因テ罪ヲ減ス夫々ノ親
 ノ申シ付ルナリ

若シ夫妻ヲ誣告シ及ヒ妻
 妾ヲ誣告スルモ亦誣ル所
 ノ罪ニ三等ヲ減ス
 若シ奴婢家長ヲ告ル者ハ
 實ヲ得ルト雖モ杖九十誣
 スレバ子孫ノ祖父母父母
 フ云カケシタルト同シ絞
 罪ナレバ其科ヲ申出タル
 ハ徒二年半杖九十ト違
 ヒア誣告スル者ハ絞雇人
 家長ヲ告ル者ハ杖六十誣
 告スル者ハ誣ル所ノ罪ニ
 三等ヲ加ヘ罪流三等ニ止

其祖父母。父母。外祖父母。子孫。外孫（女ヲ嫁ルノ孫）ヲ誣告スル者ハ。論スルヲ勿レ。若シ家長。奴婢。雇人ヲ誣告スル者ハ。並ニ誣ル所ノ罪ニ。三等ヲ減ス。

干名犯義條例

第二百四十條 凡子孫。祖父母。父母。父母ヲ誣告シ。妻妾。夫。及ヒ夫ノ祖父母。父母。

○フリ伺七 ○
 滋賀縣 華族 滋賀縣 華族
 缺者ハ 破廉耻 罪ニ奉養
 シ止ルハ 教令ノ違ニ以テ
 刑ニ處シ 等事ノ犯シ酒色
 月ニ處シ 可然哉 ナレハ
 年三ノ十 月ニ處シ 可然哉
 祖ノ父 但奉養ニ偶マシテ
 ハ此限 父母官ニ説テ乞
 滋賀縣 華族 滋賀縣 華族
 此則第 十條ノ平民其子
 監獄入 則第 十條ノ平民其子
 之ヲ聽 入則第 十條ノ平民其子
 教ヲ不 入則第 十條ノ平民其子
 違之 監獄入 則第 十條ノ平民其子

凡子孫。祖父母。父母ノ敬令
 違犯シ。及ヒ奉養缺クル
 有ル者ハ。杖一百。祖父母
 父母ノ親ヲ告ルヲ待テ。乃
 坐申付ト違カタルト。養ヒ
 子孫違教

ヲ誣告スル者ハ。絞ニ處スル律ヲ改メ。懲役終身。

子孫違教

敬ハ申付リ。成
 申シ付ケ
 申シ付ケ
 申シ付ケ

皇律列彙 卷五 訴訟律 子孫違教 十五

朝
名
律
例
卷
五

シ違教私擅用財等ノ廉入ヲ
以テ父母請分トキ義ト相
レシテ然哉分トキ義ト相
律得可然哉分トキ義ト相
心七月九日孫令
年七月九日孫令
母戒ヲ為ノ子孫令
徳一ノ情願ス時不
入レ可シ若シ官違私擅用良
聽ノ事ヲ推問シ及置ルモ自
財ノ事ヲ推問シ及置ルモ自
ト等シシ不問及置ルモ自
罪ヲ看シ不問及置ルモ自

子孫違教條例
第二百四十一條
凡祖父
父母老疾シテ家ニ侍
養ノ親ナキニ故ラニ棄
去ル者ハ懲役二年
祖父母父母ノ年ガ七
十以上カ疾シテ
病氣アルニ逃レテ去
ル者ハ懲役二年
年ノ懲
役ナリ
教唆詞訟
テヘ公事ノ勸メス
教唆詞訟

皇
律
例
卷
五
新
詔
律

凡詞訟ヲ唆シ及ヒ人ノ
為ニ詞狀ヲ作り情罪ヲ入
レト罪ヲ増減シテ人ヲ誣
告スル者ハ犯人ト同罪
ノカシタル者モ當罪流三
人モ同シ罪ナリ
等ニ止ル
若シ雇ヲ受ケ人ヲ誣告ス
ル者ハ自テ誣告スルト罪
同
雇ハレテ云カケスルモ
同
身ニ云カケスルモ罪
ハ同
ナリ
財ヲ受ル者ハ賊ニ

子孫違教
教唆詞訟
十六

計ハ枉法ヲ以テ。枉法ノ罪
詞訟カ。又ハ証告ノ罪ガ重
ム。重キニ從テ論ス。
其人ノ愚ニシテ。冤枉ヲ伸
ル。能ハサルヲ見テ。教令
スルニ實ヲ得。タリハ。科
キナ。及ヒ人ノ爲ニ。詞狀ヲ
書寫シテ。罪ニ増減ナキ者
ハ。論スル。勿レ。
官吏詞訟
凡官吏婚姻。錢債。引錢。田

宅等ノ事ヲ爭論スル。有
レハ。家人ヲシテ。官ニ告ケ。
對理セシムル。ヲ聽ス。官
吏自ラ公文ヲ以テ。行移ス
ル。ヲ許サス。違フ者ハ。答
三十。
婦人。借。貸。ト。出。入。アリ。
金。錢。ト。借。貸。ト。出。入。アリ。
替。人。遣。ハ。奴。婢。雇。人。ト。
カ。替。人。遣。ハ。奴。婢。雇。人。ト。
ナリ。又。遣。ハ。奴。婢。雇。人。ト。
ナリ。又。遣。ハ。奴。婢。雇。人。ト。

朝律例纂卷五

○條甚候哉ハ本
然ハ令般廉官竊之トモ稱名同此ヲ處ノ破七年月
ル無破相相耻吏盜依異スス例所段以不伺廉賊五廿
ニ之廉成伺甚ニトテナトル律伺更テ枉ニ耻圖月三日
凡昔更ヲ後所論之ト圖無情ニ罪及スノヲ盜日
欺ニ以不伺論之トアニキ罪至條御ル贖通以ト付
恐御テ枉ノシヲアニキ罪至條御ル贖通以ト付
喝達論法通候犯ル不故モモ罪候ニハ及論等書
取有スノト哉七華枉ニモモ罪候ニハ及論等書
財之ル賊御トハ士法可有犯等ト
等候限罪指先破族ハ有犯等ト
半人ギクル賂受ガ等者若減人ハ賊ニ計ハ
ニハ二外ハ一ノハ其ゲヲ減罪徒一年
ル等ハ一ノハ其ゲヲ減罪徒一年
何賂程重ク取ナル罪
何賂程重ク取ナル罪

ハ賊ニ計ハ之ヲ科ス等外
人ハ各法トナリ不枉一等ヲ
減ス
若シ説事過錢取賂
者等内ノ元ハ少初位以上ル
等以上ヲ云ナリ者ハ錢ヲ
ガ取リ次一ノ減ス人
受ル人ニ一ノ減ス人
ルヨリ取バ賂受ノ輕
ク外ハ一ノ減ス人
ハ一ノ減ス人
人ハ二外ハ一ノ減ス人

皇律例纂卷五

盜以同限以稱以衛限同以盜
止リ論ニ存同以論者ト以錢御ト斬ステニナテニ
ノ候ス止セクテシナアテヲ指アモル論候在ル論準
例ヘルルヲ絞論凡レリ論盜令リ本等ス哉ヲ却トル
他氏者トル罪ス人ハ右シムニ然律ハ盜ヲ同ルテ罪
律以罪ア然ニ至儀レ守盜役ノ祀ニ依正以條ハ破廉
テ止リルニハ付常盜ト身各社重之ト論枉何甚ト耻
相論ノ律中懲ハ付真犯人ヲハ盜神縣ヲ同ス法ノ權ノ罪
見ス例ハ準役キ終儀犯盜以管止罪前伺科シトヲ權ノ罪

受賊律

官吏受財

シ枉ノ次シ方レ賂ス法別賂
テ法方ニタヨ捌ルキ取不枉法ヲ取次者
全科各主アル者通算
此段ハ公事ニ人依怙ヲ賂セヒ
若シ枉ノ次シ方レ賂ス法別賂
テ法方ニタヨ捌ルキ取不枉法ヲ取次者
全科各主アル者通算
此段ハ公事ニ人依怙ヲ賂セヒ

十九

右罪同稱儀名例論ハス御指ト
 白稱御至テリ論ハスノ候ハ
 令ス以テ疑ハル者ハ御指ト
 論ス月付奉候也疑ハル者ハ御指ト
 七七同算ルノ止其竊盜ト
 節同ルノ止其竊盜ト
 論同ルノ止其竊盜ト
 例同ルノ止其竊盜ト
 スリ又テ破産社甚罪同テ以テ
 盗犯者ハ各社神ノ前以テ
 真犯者ハ各社神ノ前以テ
 縣指令ハ改正ノ付引ス可
 ○官大吏受財條若シ說事過錢

シテト云テ其賂ハ勿論一
 人ヨリテ罪ニテ露テハ
 ド幾ノ罪ニテ露テハ
 人ヨリテ罪ニテ露テハ
 リテ罪ニテ露テハ
 其ノ罪ニテ露テハ
 纏メテ罪ニテ露テハ
 以テ罪ニテ露テハ
 人ヨリテ罪ニテ露テハ
 杖ノ罪ニテ露テハ
 ナリテ罪ニテ露テハ
 ナリテ罪ニテ露テハ
 ナリテ罪ニテ露テハ

スル等内人云々罪徒一年
 半正不_レ相見_レ共枉法_二不枉_一
 之法_一不_レ相見_レ共枉法_二不枉_一
 七年_一之候哉ハ取與共同罪_二不枉_一
 以_レ財_二請_一求_レ律例_二頒_一及降_レハ前_一指_レ令_二犯_一

三十兩以上杖一百
 四十兩以上徒一年
 五十兩以上徒一年半
 六十兩以上徒二年
 七十兩以上徒二年半
 八十兩以上徒三年
 九十兩以上流一等
 一百兩以上流二等
 一百一十兩以上流三等
 二百五十兩以上絞
 等外人ハ三百兩以上絞

朝
卷五

不枉法ノ贓各主アル者通
算シテ全科ス。

此段ハ公事人ヨリ。賂
ハ受テレド。捌キハ提テ
リ。ニシテ。依テ。モス。フ。其
フ。其餘ハ前條ノ如シ。云
一兩以下。笞五十
一兩以上。杖六十
一十兩以上。杖七十
二十兩以上。杖八十
三十兩以上。杖九十
四十兩以上。杖一百
五十兩以上。徒一年

皇
律
列
彙
纂

卷五

受贓律

官吏受財

廿一

六十兩以上。徒一年半
七十兩以上。徒二年
八十兩以上。徒二年半
九十兩以上。徒三年
一百兩以上。流一等
一百一十兩以上。流二等
一百二十兩以上。流三等
三百兩以上。絞
等外人ハ。三百兩以上ニ
至リ。罪。流三等ニ止ル。
官吏受財條例

朝
律
例
卷
五

第二百四十二條 凡官吏

枉法贓ヲ受ル者等内人
ハ。二百五十圓以上。等外
人ハ。三百圓以上。絞ニ處
シ。及ヒ不枉法贓。等内人
ハ。三百圓以上。絞ニ處ス
ル律ヲ改メ。並ニ懲役終
身。

增加
明治六年七月廿日
第二百六十号御布告

凡枉法不枉法ヲ以テ論
シ。及ヒ准シテ論スル罪。

平民ハ。等外人ト同ク。罪

科ス。枉法不枉法ハ。元來官吏
ニ係リタル律ナレバ。平
民ニテ。枉法不枉法ニ類
シタル事アリ。各官吏ノ
科ニ引テ。各ノ罪ノ減
コキタル等外人ト。同
擧ゲテ。受ルナリ。故ニ
テ。論シト云ヒ。准テ論
ズ。其情ヲ犯セル罪ハ。非
ズ。其情ヲ犯セル罪ト云
ハ。違フ。其罪ヲ其捉事
關スル事ヲ云フ。論ズ。其
合スル事ヲ云フ。論ズ。其
論決シテ。擧キスルナリ。
坐贓致罪

皇
律
例
卷
五
受贓律

○濱松縣伺
爰ニ甲乙丙ノ三人アリ。甲

坐贓致罪
廿二

朝名... 卷五

ル錢論ル為甲六
ハニスハス縣年否へ仍夕乙違干ヲル其ヲ縣
枉準乙坐ハ廳ノ月何律呵シ本輕贈レ有ニ場為ノ
法シノ賍違ノ布廿、責減律キリ乙無行ニ布令
ニテ過ニ式布令三照丙シ與ニ口ヲ等夫乙ニ
準論錢依ニ問ニ日シハ盡フ問ヲ頼ヲ縣丙恃
シス、スリ、重ヒ違指
テ丙ル重ヒ財ヒ令
論ノハ、説ニヲ演
ス、財、事從與劇
ヲ事從與劇
受過テフヲ

ニクヲ枉法財凡
因可受法ハノヲ枉法不枉法ノ事ニ
テキタ不枉法舉テ財テ不枉法
罪ニ非非ノタリ非
ナルズ事レテ財テ不枉法
故ヲ當因此ヲ受不枉法
ニ受テハ受不枉法
賊ル受財其不枉法

ナニ云者夕致云以非相ヲ此
リ詳フガルスフテザ當バハ
一罪故ト賊罪ル取ルソ官
ニニハニフ物レヲ取キ切
テ落罪物坐得ヲ取キ切
七入モヲシル取ル物ノミ
賊ルヲ取罪一ル物ノミ
圖トキリニヲヲ人ナ

皇律列彙纂

卷五

受贖律

坐贓致罪

三

者ハ計ハ通算ハ前條ノ通リ其財
ハ。音。物。起。五等ヲ減ス。
五兩以下。答一十
五兩以上。答二十
二十兩以上。答三十
四十兩以上。答四十
六十兩以上。答五十
八十兩以上。杖六十

朝律律例卷之五

○愛知縣
 本條枉法
 受財不枉
 致非枉法
 者ハ事
 通テニ
 算罪因

一百兩以上。杖七十
 一百二十兩以上。杖八十
 一百四十兩以上。杖九十
 一百六十兩以上。杖一百
 二百兩以上。徒一年
 四百兩以上。徒一年半
 六百兩以上。徒二年
 八百兩以上。徒二年半
 一千兩以上。徒三年

事後受財
 役人。事落著ノ後。公
 事人ヨリ。礼金ヲ取

皇律列彙纂 卷五 受贓律

ノ等第坐八
 通ヲニ賊年可贓
 並減百、三、然、
 二、四、說、月、
 贖別十事二、
 ヲニ三過十
 聽財條錢三
 ス、ヲニス日
 受照ル指
 レシ、者令
 ハ又一、
 伺一例

シテ罪ヲ科ス。與ル者ハ五
 減トシ、之、右レアル者ハ五
 條ニテシ、因シ、以テ枉法不
 ノ事權衡ヲリ、以テ事過錢
 外ノ者ノ權衡ヲリ、以テ事過
 其犯情ヲ量リ、不應為輕重
 其間、別ニ執レテ贖ヲ聽シ、
 贓年然哉、三、月、二、事、
 年三、月、二、事、
 賊百、四、說、月、二、事、
 二、百、四、說、月、二、事、

凡官吏承行ノ事アリ。先キ
 財ヲ送ルヲ聽許セス。
 事後受財ノ事。依テ若シ
 事若シ枉斷ニ依テ若シ
 者ハ枉法ニ準シテ論シ。
 事枉斷セサル者ハ。不在法
 事。準テ論ス。並ニ罪流三
 等。止ル。錢ヲ出シ。送ル
 及ヒ過スルノ人ハ。並ニ杖
 七十。

事後受財

廿四

事後受財條例

第二百四十三條 凡官吏。

事後財ヲ受ル者ハ本條

云ナ領リヲ依リ罪ヲ科ス

ト雖モ其錢ヲ出シ及ヒ

過スルノ人ハ並ニ杖七

十ニ處スル律ヲ改メ坐

贓ニ依テ論シ一等ヲ減

シテ並ニ罪懲役七十日

ニ止ル。

ト路ヒ錢ヲ出シタル者

坐贓

財七
フ年呵ヲコ受訴置
送八責受送理訟賜
ル月ニサルヲ歎縣
ノ十處ルニ促願伺
罪九シハ官サ等
ハ日可ハ吏ニ依
不指然其擴トシ
問今裁送斥シ官
置ルシテ財吏
ク者テ財吏
ハ之物ノ

ノ内ニ引當テ一等落
シ罪ヲ定ムレハ七
日ノ懲役ヨリハ重
キ科トセナリ。

聽許財物

此條ハ公事ノ

ハ開入ルナリ。

凡官吏財物ヲ送ル

許スレハ未ク接受

雖モ事若シ枉ル

ハ枉法ニ準レテ論シ

ケサル者ハ不枉法

テ論シ各一等ヲ減

依テヤ候處乙其財請金私奪者ス
 依テヤ候處乙其財請金私奪者ス
 依テヤ候處乙其財請金私奪者ス
 依テヤ候處乙其財請金私奪者ス

難ル取坐贓ニ依テ論ス若シ
 難ル取坐贓ニ依テ論ス若シ
 難ル取坐贓ニ依テ論ス若シ
 難ル取坐贓ニ依テ論ス若シ

○ノ乙七 ○
 シト官某甲新賊全年ハニ持テ贈事本滋
 乙甲ニ某瀉ニク一候計其參五ルフ條賀
 フ是賄談詞縣料情月哉ハ知ス十節請縱縣
 額ニセス訟伺スヲ十候ル此圓甲求令伺
 ニ依ハ乙ノ知五乎所乙フ一スハ
 裁テ事日事ヲ日又ノノ増己ル甲
 判金成クアサ指ハ五罪加ノニ乙
 官若就掛リ之ハ全十ヲ了五申
 ニ干スリ之ハ所數圓斷百簡十合
 差ヲ可裁ヲ所ヲス圓ヲ圓セ
 出出ニ判乙知計賊ルヲ以一

ルハニ枉ヲ凡諸人ニ事アリ
 所ニ依ルヲ以テ官吏ニ請求シ法フ財
 ノト帖ヲ得ント欲スルキ捌
 財ヲルニ得ント欲スルキ捌
 計ナテ貫者ハ與フキ捌
 ハニ依ルヲ以テ官吏ニ請求シ法フ財
 ノト帖ヲ得ント欲スルキ捌
 財ヲルニ得ント欲スルキ捌
 計ナテ貫者ハ與フキ捌

重キニ從テ論ス
 重キニ從テ論ス
 重キニ從テ論ス
 重キニ從テ論ス

九年二月十七日指今

朝律例

○岩手縣
諸人、官、同
申請スルノ事ア

ヲテ。事ハ。逼抑シテ。財ヲ取
受スル者ハ。錢ヲ出ス人ハ。
坐セス。

以テ財ヲ請求スル條例

第二百四十四條 凡枉法
ノ事ニ非スト雖モ。財ヲ
以テ。官吏ノ受理ヲ請求
スル。願フナリ者ハ。與
ル所ノ財ヲ計ヘ。坐贓ニ
依テ論シ。一等ヲ減ス。
官吏求借財物

ル財、當該官吏、乃證留難
テ求借財物、條中、強ヲ用ヒ
テ索借スル者ハ、枉法ニ準
シテ論スル未云比擬論決
シ、若シ其贓未ト云比擬論決
サシ者ハ、聽許財物、條ニ入
タシ受テハ、減サシ者ハ、未
一、取リ、枉法ニ準テ論シ、
役、七十日、坐一、圓、減シ、
六、三十日、坐一、圓、減シ、
八、年、三月、四日、指令、キ
伺、通、本、條ニ依テ論シ、財
タ、得、ル、者ハ、一、等、減ス、
但、監、臨、者ハ、一、等、減ス、
又、等、減ス、外、吏ハ、等、内

此條ハ。役人、交配カ
ノ財物ヲ。兩望シカ
ケ。又。借用シカ
ケルヲ云フ。
凡。監臨。改メ。官吏。執ヲ。挾ミ。
凡。役。權。ノ。被。官。吏。部。内。支。配。所。
テ。場。ノ。財。物。ヲ。求。索。借。貸。望。所。
ル。或。ハ。借。ス。ル。者。ハ。並。ニ。贓。
用。ス。ル。不。枉。法。ニ。準。シ。テ。論
シ。計。ヘ。不。枉。法。ニ。準。シ。テ。論
シ。強。ヲ。用。ヒ。テ。索。借。ス。ル。者
ハ。枉。法。ニ。準。シ。テ。論。シ。罪。流
三等ニ止ル。其監臨ニアラ
サル官吏ハ。各一等ヲ減ス。

朝律例
卷五
受贓律

○
置賜縣事
枉法受事
官吏為理
頼乙詐偽
送取百
甲例第
律坐
減坐
然我

皇律例
卷五
受贓律

凡官吏。公務。因テ。擅。額定。
ハ。坐。ス。
流三等。止ル。知ラサル者。
吏情。細子。ヲ知ル者ハ。同罪。罪。
官吏ノ家人奴僕ハ。又一等。
等ヲ減ス。監臨ニアラサル。
官吏ノ家人奴僕ハ。又一等。
ヲ減ス。若シ監臨官。及ヒ官。
吏情。細子。ヲ知ル者ハ。同罪。罪。
ハ。坐。ス。
凡官吏。公務。因テ。擅。額定。
ハ。坐。ス。
流三等。止ル。知ラサル者。
吏情。細子。ヲ知ル者ハ。同罪。罪。
官吏ノ家人奴僕ハ。又一等。
等ヲ減ス。監臨ニアラサル。

家人求索 因公科斂
廿八

若シ官ヲ去リ。無官ニテ。後。舊。
部内。元。配。セ。ノ財物ヲ受。
ケ。及ヒ。求索。借貸。スル者ハ。
各在官ノ時。三等ヲ減ス。
家人求索。
凡監臨官吏ノ家人奴僕。所。
部内。於テ。財物ヲ取受シ。
及ヒ求索スル者ハ。各監臨。
官吏ノ罪。官吏ノ求索。借。財。二。
官吏ノ罪。官吏ノ求索。借。財。二。

朝行傳

第七第

貸金穀出訴中議
依頼受者過當被和
周旋アスル者過當
受規則代言人等訴
却比依シ至當ノ論
金外没官シテ以裁
伺候月也官シテ以
一年條條十人通指
二條條十人通指
人等在手周旋人通
ルノ欺恐喝等其情
問テ可キナシ出ル
ハ罪ノシ受ル書

ノ外。限。面。所。部。内。ノ。財。物。ヲ
ノ外。限。面。所。部。内。ノ。財。物。ヲ
科。斂。ス。ル。者。ハ。已。レ。入。レ
私。用。非。ス。ト。雖。モ。答。五。十。
重。キ。者。ハ。坐。贓。ヲ。以。テ。論
ス。已。レ。入。ル。者。ハ。贓。ニ
計。ハ。枉。法。ヲ。以。テ。論。ス。其。取
計。ハ。枉。法。ヲ。以。テ。論。ス。其。取
バ。坐。贓。ノ。罪。ト。當。テ。重。シ。ケ。レ
其。品。ヲ。取。リ。罪。ト。定。ム。ハ。若
枉。法。律。ノ。罪。ト。定。ム。ハ。若
其。公。務。ニ。因。ル。ニ。非。ス。シ。テ。
所。部。内。ノ。財。物。ヲ。科。斂。シ。已
レ。入。ル。者。ハ。贓。ニ。計。ヘ。

皇律列
受贓律

不枉法ヲ以テ論ス。若シ科
斂シテ。人ニ餽送ス。物ニ
ル者ハ。已レ入ル。ス。ト。雖
モ。罪。同。
凡。巡捕官吏。見。捕。已
盜賊ヲ獲テ。贓物ヲ。送。留
官司ニ送ラサル者ハ。答三
十。已レ入ル。取。込。ム。者

送留盜賊

廿九

朝
不
任
法
ヲ
以
テ
論
ス

ハ。賊ニ計ヘ。不任法ヲ以テ
論ス。

受外國人餽送

外國人ヨリ進物

凡官吏人私ニ外國人ノ

餽送ヲ受ケ。即時ニ官ニ告

サル筋ニ届者ハ。賊ニ計ヘ。

不任法ヲ以テ論ス。

受外國人餽送條例

第二百四十五條 凡外國

人ノ餽送スル。飲食土宜

等。交際ノ礼ニ係リ。互ニ
相贈遺スル者ハ。官ニ告
ケスト雖モ。以不任法論
ノ限ニ在ラズ。綱領ノ不
ニテ論ハサル内。

皇
律
列
載
集

長
江
如

受賊律

受外國人餽送

三十

朝
行
...
卷五

○石川縣伺六年八月二十八日
 指令素ヨリ自分所持ノ
 印章ハニモ新開方會計
 印シテハニモ新開方會計
 擬シテハニモ新開方會計
 然レ公ニシテハニモ新開方會計
 是レ公ニシテハニモ新開方會計
 取トスレバニモ新開方會計
 本ル見ルニモ新開方會計
 者ハ凡官ノ文書ヲ得テ
 甚クハ懲役三年ノ書ヲ得
 ○除族ノ上懲役三年ノ書ヲ得
 奈良縣伺
 私印偽造スル者ハ即チ本
 律有之候處スル者ハ即チ本
 假令ハ送籍長戸長等ノ實
 或ハ送籍長戸長等ノ實
 奥印ハ其公私文ニ偽印ス
 件ハ其公私文ニ偽印ス
 犯罪ノ權衡區別有之

皇
律
別
景
集

卷五

詐偽律

詐偽官文書

三十一

詐偽律
 此律ハ偽
 詐偽官文書
 凡官ノ文書ヲ詐為スル者ハ皆徒三年
 省臺察司府藩縣ノ文書ハ
 二等ヲ減シ餘ノ文書ハ五
 等ヲ減ス未タ施行セサル

○四書據偽長ル公京七
 然年造印アル第十儀
 年造官ノレ云百二ト
 印如ハ、ノ條三、月相
 ア律キ前ノ御凡都候
 ニ中モ顯區指官裁然
 依餘公區長令ノ判所
 ノ事長ノ伺印所ハ
 所印ニ戸伺棄伺昨
 分ハ限長ノ通毀ニ酉
 シ徒リノ通毀ニ酉
 可一偽押トス例年

者偽作ハシタレハ各官太
 文書省臺察司府一等ヲ減
 藩縣ヲ指テ云フ。府一
 シ。重事ニ關スル平不タル
 ナリ。大事ニ關スルハ各一
 係ヲ加フ。若シ規避スル所
 等ヲ加フ。若シ規避スル所
 アル者逃レ作道ヲテ巧ミ置ク。
 ハ。各重キニ從テ論ス。
 其當該ノ官司。知テ聽行其
 又ハ増減セザルヲ知テスル
 者ハ。各同罪。罪流三等ニ止
 ル。知サル者ハ坐セス。

自分ハ受入ト記載シ、兩
 リ金ヲ借ル。其金返相
 出取不存候處、立、於テハ
 一取取候處、立、於テハ
 甲取取候處、立、於テハ
 二取取候處、立、於テハ
 三取取候處、立、於テハ
 四取取候處、立、於テハ
 五取取候處、立、於テハ
 六取取候處、立、於テハ
 七取取候處、立、於テハ
 八取取候處、立、於テハ
 九取取候處、立、於テハ
 十取取候處、立、於テハ

詐為官文書條例
 第二百四十六條 凡私ノ
 文書ヲ詐為スル者ハ。情
 フ量リ。不應為ニ問ヒ。輕
 重ヲ分ツ。
 公ノ事ニテテキ。私用
 ノ證書仔細ヲ酌トス。
 不レ應為ニ律ノ内ニ酌トス。
 キ重キヲ分テテ。輕
 科ニ當ルヲ分テテ。輕
 京都裁判所
 證文等ニ餘人ノ名ヲ合
 牙印ヲ以テ偽押シ、物有合
 ノ賣シ、或ハ財借ル者云
 々ノ疑義、先般相伺候處、例

皇律
 詐偽律
 詐為官文書
 三十二

第七
一年十月五日
條文書詐為ノ日廉八例第

○指六先七

長意ハ狀ニ偽一ノ港乘商愛令條般年儀御ス付斷第
ノニハヲシ造時送ノリ買知ハニ指一ニ指ル新ス二
印任思借テセ邪狀後數十荷同議ルノ二可ハヲ縣御四
チセ慮リ能ハトヲ失改里物ニ可通ハ之引テ七令六
トシ涉ニス欲スル其送ヲ覺戸長
一與ヲス忽ヲノ無狀覺戸長
印ヲ本忽ヲノ無狀覺戸長
ヲ人然兀ノ無狀覺戸長
出戸其ヲ送

詐偽律

詐為官文書

三十三

○但法以縣長為二百
裁テノノス百
小書判論餘ノ書ヲ以テ六
偽証田項共付債金ハ詐為
他印ヲ捺シ作ノテ之ニ
遂クルモ者アヲ以テ其謀
ヲテ偽造刺スル者モ私文
以テ詐為印トシテ書
可然哉或ハハハハハハハハ
假用ハハハハハハハハハハ
其奸詐ノ情ト別用ノ實ト
至テハハハハハハハハハハ
處斷可然哉印ノ伯仲ニ擬
シ

○シ情本七

出アヲヲ鳥京テヲ入年然重ヲラ可シ以ハ年及偽ニ
稼リ以棄取都達知ハ六哉ヲ責サ然代テ二省ヒ律之
券奈テ毀縣裁式ヲ伺月以メル哉書論等臺增凡ニ
送良論スヨ判輕サノ九テ其ヲ又者シヲ察減官捺
籍縣スルリ所重レ通日論シヲ天偽徒役シ府ル文シ
狀ハ可伺區伺ニハ代指令贖量只ノヲ百餘藩ノヲ本
等ノシニ長處スノ狀者詐酌偽ノ
ノ御ト餘ノ送籍狀
文指御指文籍狀
書令指文籍狀

トナシ其下へ自分有合ノ
 印形ヲ捺用ニ金ヲ借得ル
 戸長アリト雖モ其職務ス
 ル心無シト外聞ヲ憚ル
 長ク愛ニ至ル外雖モ其金
 ヲリ債主ニ返ル律ニ不
 既ニ罪ヲ偽造私印律ニ
 其罪ニ然哉私印律ニ不
 致シ九月二十七日指令
 七年九月二十七日指令
 私文書ヲ詐為スル者不
 為問ヒ情ヲ量リ輕重ヲ分
 ○ツ、司法省裁判所波瀨
 越後國蒲原郡石瀨村農
 其方儀幸國ハ工ノ棚橋源
 水油買入ルハ節請人ヨリ
 候高澤四郎左衛門作意ヲ
 以テ舊與板藩商河西省
 吾其外ノ名前等ヲ書致ル
 身元引受ノ偽証ヲ差入ル

科例第二百四十六條ニ照
 懲復七十日申付候事但
 シ逃走罪ハ輕キニ依リ論
 ス、對詔上書詐不以實
 凡對詔答申上書及奏事
 ナドヲ申上書及奏事
 シ上ルヲ申上書及奏事
 テ實ヲ以テセサル者ハ徒
 二年。

例 對詔上書詐不以實條
 第二百四十七條 凡對詔
 及奏事上書ヲ除ク外。

○敦賀縣衙門ノ印ハ盗徒ノ偽造ニシテ其ノ罪ノ重キハ凡ソ官衙ノ印ニシテハ其ノ罪ノ重キハ凡ソ官衙ノ印ニシテハ其ノ罪ノ重キハ...

凡官ノ印ヲ偽造スル者ハ絞省臺察司府藩縣ノ印ハ流一等餘ノ印ハ徒一年未...

上ニ告ルニ詐テ實ヲ以テセサル者ハ懲役一年事情輕キ者ハ懲役八十...

○内ノ罪ノ重キハ凡ソ官衙ノ印ニシテハ其ノ罪ノ重キハ凡ソ官衙ノ印ニシテハ其ノ罪ノ重キハ...

偽造官印條例 第二百四十八條 凡官ノ印ヲ偽造スル者ハ絞ニ...

○愛知縣衙門ノ印ハ盗徒ノ偽造ニシテ其ノ罪ノ重キハ凡ソ官衙ノ印ニシテハ其ノ罪ノ重キハ...

凡寶貨ヲ偽造シ已ニ行使スレハ銀數ノ多寡ヲ論セ...

紙指○ 托ヲ不
幣令、和無ス受融セ
ヲ歌罪ルケ通ス、
取山者、テ、ノ
受縣罪、封、金
ス、同、ノ、金、ア
ル、六、田、科、ニ、リ、
ノ、年、造、ス、セ、善、
後、九、孫、ヘ、ン、惡、
始、月、十、キ、ト、ノ、
テ、七、郎、ナ、人、檢、
偽、日、ニ、ニ、查、
論、十、銀、賣、

テ已買本=引ス、
論買取律增換還
シ、使、シ、益、ノ、却、
者、未、凡、シ、セ、ル、
三、夕、偽、テ、ヲ、
等、行、造、預、約、
ヲ、使、タ、ケ、シ、
減、セ、ル、置、テ、
ス、サ、ラ、者、本、
ル、ル、ヲ、知、改、
ヲ、者、ハ、テ、正、
以、ハ、テ、數、日、

ス。首タル者ハ。梟。從タル者。
及ヒ匠人。廣金銀指帶。及ビ
ル者。若クハ情ヲ知テ買
使スル者ハ。並ニ斬。其雇人
襟役ニ供スル者ハ。乾。水。打。炭。
等ノ雜事ニ從テ。徒三年。
若シ偽造已ニ成リ。未タ行
使セサル者ハ。首タル者ハ。斬。從
タル者。及ヒ匠人ハ。流三等。
雇人ハ。徒一年半。若シ偽造
未タ成ラサル者ハ。首タル者ハ。

造、厭、係、
テ、省、印、
テ、遂、行、
例、第、二、
シ、行、使、
○、山、梨、
日、指、令、
改、本、律、
ル、者、役、
○、正、本、
懲、後、終、
懲、役、五、
○、山、梨、
日、指、令、
改、本、律、
ル、者、役、
○、正、本、
懲、後、終、
懲、役、五、

北條縣同
當縣下勝南
口善七寶貨
リ、明、治、三、
山、藩、新、於、
其、後、新、律、
成、候、疾、付、
人、重、疾、付、
置、候、旨、置、
其、儘、差、置、
候、處、從、前、
永、牢、引、送、
ノ、尚、

窪田宗助
窪田宗助
窪田宗助

流三等。從タル者。及ヒ匠人
ハ。徒三年。雇人ハ。徒一年。
若シ過テ悔テ自首スル者。
已ニ行使スル者ハ。一等ヲ減
シ。行使セサル者ハ。罪ヲ免ス。
府藩縣通行ノ貨幣モ。亦同
改正偽造寶貨律
第二百四十九條 凡寶貨
ヲ偽造シ。已ニ行使スル
者。首ハ。斬。從。及ヒ匠人。若

皇
律
列
纂
卷
五
詠
偽
律
改正偽造寶貨律
三十七

○伺七

刑ハ放免ノ期無之終身入
牢ニ譯有テ今日付終身懲
合ニ貼有候付哉
役一月斷仕如何令
年通裁及所買判土佐判
京都金其加各量圖表御
甲州新貨幣位偽造者
改正如新貨幣位偽造者
記載ナキハ質入致ス又
ハ賣捌ノ類ハ海内普用
リ右ノ類ハ付賣通者
ノ品無シ難カ造カ因
テ以テ銀器ノ物ヲ造スル
モ金銀ノ器ノ各所造スル
森利ト見計各竊盜得ル
シテ論テ然哉偽賣金捌
同ト上正論甲州金ト偽賣
ノ旨申明シ又ハ潰金等ト

クハ情ヲ知テ買使スル
者ハ懲役終身其雜役ハ
遣イ小ニ供スル者ハ懲役
十年未タ行使セサル者
ハ各一等ヲ減ス
其偽造未タ成ラサル者
首ハ懲役三年從及ヒ匠
人ハ懲役二年半雜役者
ハ懲役百日
若レ過テ悔ヒ自首スル
者已ニ行使スルハ二等

○ス狀ト第第七

レ應テ為輕價ニ擬賣捌モハ不
一年條伺通指可然哉ハ不
二條伺通令潰者情等
レ依テ低價ト賣却スル者
口書テ概テ出論可者情
愛媛縣同概テ出論可者情
街頭遺失ノ一銀銅貨幣
ヲ磨磨何心ナ水銀銅貨
招磨キ候不計惡心ヲ顯
シ候ヨリテ一錢ノ生レ
小刀ヲ以テ五錢ノ字紛
ノ上ヲ畫テ十字ハ無候
共ニ形テ五十字ハ無候
類似シテ候モヨリ銀貨幣
刑罰ノ心ヲ得取ハ十錢見
貨幣ノ他ニ買物取ハ十錢見
相考ト心ヲ得取ハ十錢見
十錢ノ他ニ買物取ハ十錢見

フ減シ未タ行使セサル
ハ罪ヲ免ス
偽造寶貨條例
第二百五十條 凡金銀貨
幣ノ邊緣ヲ剪錯シテ利
ヲ取リ知レ銀貨ノ端ヲ
落スルヲ別ノ益ニ行使スル
者ハ懲役三年

第二百五十一條 凡紙幣
ノ字樣ノ形等ナリ
刻シ成片ヲ補轉シ筆畫
偽造寶貨
三十八

同 貨律八
上懲ノ例年儀者例者論犯スル律年原斷御相ル十九
偽役匠第一一ヲ四ニスニル筋ノニ律罪頒成ニ年條
造終人二月モ以十付ル名者ニ儀相罪依布候依久雜
寶身已百十候テ九事ハノニテハ伺名新前然リ次役
貨ニ四八哉擬條情ハ如ハ原更候輕頒ノル同郎ニ
ノ行十日ニ雜御其キ無律ニ得キ律犯ニ七儀供
匠使九指御役酌情匠之ニ御共ニ條罪詆年ハス
人ス條令指ニ量狀人哉依改偽付例ニ犯ト行ル
末ル偽者造寶揮供有憫ヲ或リ正造徳ニ付ハ御使者
行者造寶之然以ハ定相寶役依名律指セ懲
之ル律ノテ詆擬成貨三リ例例令サ役

第二百五十七條 凡ノ
者ハ違令重ニ問フ
テ重キ科ニ違令重ニ問フ
テ重キ科ニ違令重ニ問フ
官司ニ申報セサルノ知
寶貨ヲ偽造スルノ知
成サル者ハ懲役百日
ヲ以テ論ス其偽造未
ナレトバ懲役十年ナリ
科トバ懲役十年ナリ
未行使用レ偽者ハ偽造已成
ルメシト雖也首報セサ
拔ケ間スト雖也首報セサ
者ハ偽造已成

○ = 圖 八

松照本西盤盤計ル造年トノ四ル賍算ヲ賍引シテテ
次ニ久松城前ハ者ノ一ヲ多十ニ金ス計ニ去其高底
郎懲次次國縣竊ハ情月ニ寡九該高ニ算計リ得利價
儀役郎郎標伺盜得ヲ九テヲ條ル倍ハ可ハ全ルヲニ
ハ三儀植葉ニル知日論不ノ如殖贖仕可ク所得買
例年偽葉郡准所テ指シ論權此シ造哉申得ノ者取
第ニ造郡幾シノ買令可贖衡ハ重主其哉ル賍猶他
二相寶井世テ花取然造ニ例罪ヨ全又花ハ竊ヲ
百伺貨出橋論利シ哉者ヨ第ヲリ數ハ利原盜詐
四候律村村スヲ利ノリニ科却ヲ全ノ價ニ欺
十所ニ松小賍ヲ從賍百ステ計數ミヲ準シ

第二百五十六條 凡偽造
シニ已成リ未タ行使セス
依ル終身ノ知科ナリ
懲役終身ノ知科ナリ
偽行使スル者ハ知行情行使
行行使スル者ハ知行情行使
貨ヲ受ケ其金下職工錢ニ偽
貨ヲ受ケ其金下職工錢ニ偽
供スル者雇工錢ニ偽
ニ供スル者雇工錢ニ偽
二百五十五條 凡雜役
徒從ノ者ハ隨從ニシテ
徒從ノ者ハ隨從ニシテ
徒從ノ者ハ隨從ニシテ
徒從ノ者ハ隨從ニシテ
徒從ノ者ハ隨從ニシテ

使同十年者
松次郎處斷儀最
八伺面久次郎擬定
所右兩人通雜者
作具製兩造ノ者ニ
當候付本議ノ如ク
改正ス

第二百五十八條 凡寶貨

ヲ取受テ偽造スル者ハ、
官ノ檢視ヲ經スルヲ知
行使スル者ハ、不應爲重
問フ。
偽ナルヲ知リ改メ役
所ハ改メヲ受ス使メ
者ハ、不應爲律ニ依
テ罪ヲ捌クナリ。
明治六年六月
第二十三號御布告
增加
凡紙幣ニ印スル漏印
及ヒ倒用スル者ハ、一
張

偽造寶貨

懲役十日。三張毎ニ一
等ヲ加ヘ罪懲役七十日
止ル。若シ検査官吏朦
朧交收スル者罪亦同。
紙幣ニテ紙幣製造ノ
時押スル者ハ、罪亦同。
テハ心付カハ倒サマ
テハ心付カハ倒サマ
ハ。差出カハ倒サマ
リ。三張申マセバ懲
ヨノ科ヲ申レバ三張
科ナレバ六日増シ。ハ
該夫ヨバ六日増シ。ハ
一同等夫ヨバ六日増シ。
至ル紙幣留テ改メ請
取ル

朝
行
御
集
卷
五
五

雖秤	擬換例	○	新
呵モ量同	贖シ、	出ミ	十
責未ノ	金懲テ	凡テ	一
夕懸	一役情	秤サ	懸
成紐	圓三輕	量ル	天
ヲヲ	五十キ	ノ者	別
齋サ附廣井十	日者	標	補
藤ル替瀨川錢	贖不	星改	利
宇ヲヲ頼	ヲ應	懸定	欲
兵以頼	聽為	紐本	ヲ換
衛天ム助	ス、輕	ヲ律	圖
	ト	二變	條

增加偽造斛斗秤尺條例

凡斛斗秤尺ヲ偽造スル者ハ。流一。等。從。タル者。及ヒ匠。人。ハ。偽。造。ス。ル。職。人。ナ。リ。ハ。徒。三。年。

檢査ノ官吏モ。檢臨ノ罪。モ。亦。其。職。人。ト。シ。テ。罰。ス。ル。事。ナ。リ。

此。條。ハ。秤。尺。ノ。偽。造。ト。シ。テ。罰。ス。ル。事。ナ。リ。ハ。秤。尺。ノ。偽。造。ト。シ。テ。罰。ス。ル。事。ナ。リ。

皇
律
列
彙
纂
卷
五
詐
偽
律

偽
造
斛
斗
秤
尺
四
十
三

明治六年八月二日
第二百七十九号御布告

凡斛斗ノ邊縁ヲ増補シ
秤量ノ標星懸紐ヲ變換
シテ。利ヲ圖ル者ハ。懲役
一年半。情輕キ者ハ。不應
為律ニ問ヒ。輕重ヲ分ツ。

大升小升ノ修繕ノ等ヲ知
レタシ。或ハ。秤ノ星ノ取
出シ。改メ。或ハ。秤ノ紐
置キ。改メ。或ハ。秤ノ
換シ。改メ。或ハ。秤ノ
一。年。半。ノ。間。ハ。犯
ス。ル。事。ナ。リ。ハ。徒。三
年。ノ。罰。ス。ル。事。ナ。リ。

○私滋私印... 造可十ル照證ス紙シテ取テスニ私滋

○凡私印... 罪取銀一凡... 二新瀉縣

偽造私印... 十日少シテ

○紙全詐七

本七條年... 但十然例ヲタ但等

皇... 詐偽律

偽造私印... 四十三

○候通令應印昨... 八印年ヲテノ有論カハ既重

○ 茲賀縣士族大岡某本條官
 賀差遣詐稱大岡某本條官
 者照二徒年從一士族等
 減シテ禁錮二
 キ換所無代ニ酒食盗ルハ刑
 准シテ破廉恥ヲ以テ竊除ニ
 年ハ處除詐稱ノ罪禁錮ニ
 然ハ財ヲ得テ同族ノ破廉恥
 詐稱スルハ論シテ同族ノ破廉
 フ以テ論シ得テ同族ノ破廉
 年以テ申付哉除族上徒二
 年八月二十日指令

刑ヲ
 等
 一
 爲
 本
 條
 官
 爲
 本
 條
 官
 爲
 本
 條
 官
 爲
 本
 條
 官

凡無官ニシテ有官ノ役向テ
 詐稱シ。或ハ官司ノ差遣
 ト詐稱シ。或ハ官司ノ差遣
 其筋ヲ一詐稱シテ人ヲ
 捕及ヒ官員ノ姓名ヲ詐
 稱シ。或ハ官司ノ差遣

探方ト詐爲シテ求爲スル者
 詐者ト詐爲シテ求爲スル者
 ハハハハハハハハハハハハハハ
 論ハハハハハハハハハハハハハハ
 破廉恥甚ニテ依リ一等減
 除族上徒二
 罪ハ輕ニ除
 上謀ナルヲ棄
 懲從二ナルヲ
 懲從二ナルヲ
 懲從二ナルヲ

冒シテ求爲スル所アル人
 ノ取テ仕ル者ハ徒二
 年。犯ス所輕キ者ハ杖七
 十。若シ見任官現勤人
 子孫弟姪家令等ト詐稱シ
 テ求爲スル所アル者ハ杖
 九十。犯ス所輕キ者ハ答三
 十。從^キ附^{タル}者ハ各一等
 若シ財ヲ得^ル役名等ヲ名
 詐稱官 四十五

入ヲ手ニ者ハ。賊ニ計ヘ。竊盜
ニ準シ。重キニ從テ論ス。罪。
流三等ニ止ル。

詐稱官條例

第二百五十九條 凡郷貫

ル。已ル。籍ノ人別。名氏。名前。
ヲ詐稱。某ノ府。某ノ縣。某ノ屬。某。
屬某ト云ヒテ。支配ノ屬。貫。
名前違ヒ云ヒテ。支配ノ屬。貫。
テ。客。壓。旅。籠。屋。宿。スル。
者ハ。不應爲輕。問。其
懲役一十
日ニ當ル。

詐稱病死傷

凡官吏人等。疾病ト詐稱シ。
事ニ臨テ難儀ヲ避ル者ハ。
笞三十。避ル所。事重キ者ハ。
杖七十。
若シ罪ヲ犯シテ。死スト詐
稱シ。喚問ヲ免ントスル者
ハ。徒一年半。避ル所。事重キ
者ハ。各重キニ從テ論ス。

若シ人ト忿争イライシシテ故サ
 ラニ自ラ傷殘イザシツ自ミテ手ニ疾イナラサ
 シドクシ。人ニ詐イ頼イスル者ハ。
 杖七十。其雇イヒテ受ケ。込イ頼イレミ。
 人ノ爲ニ傷殘イク傷イシツケ。スル
 者ハ。犯人イヲ傷殘イトスル者ハ。同
 罪。因テ死ニ致ス者イハ。傷殘イス
 程シキニ因テ仕出イズスルハ。闘イ殺イ
 罪ニ。一等イヲ減ス。為イ頼イセシレ故テ
 若シ當該ノ官司イノカ役人イリ知

テ聽行イテ見逃イクスル者ハ。同
 罪。流三等ニ止ル。知ラサ
 ル者ハ。坐セス。
 詐教誘人犯法イ
 凡詐テ人ヲ教誘イカソシテシ
 テ。法ヲ犯サシメ。卻イテ自ラ
 捕獲イル欺イキテ。捉イテ破イラセ
 シ。若クハ告舉イ人其辭イハ。詐イシ。
 或ハ人ヲシテ。捕告イル捕イ押イシ。
 人イノ欺イカレシ者ハ。法ヲ犯
 スノ人イヲ欺破イソレシ者イト同罪。

朝
行
傳
書
卷
五

○愛媛縣伺入籍セト雖

未ノ家ニ

モ實人ノ

姦罪ヲ犯ス

姦罪ノ一

婦各懲一

キ各懲一

年二月二

凡七稱日

上テ其日

初名アル

定有夫ヲ

其有夫ヲ

即其有夫

○皇

皇律

皇律

計ハ、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

者、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

年、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

滿、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

無、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

セ、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

大、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

ト、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

爰、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

奈、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

テ、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

定、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

初、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

上、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

凡、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

七、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

年、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

婦、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

姦、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

罪、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

ノ、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

一、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

百、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

日、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

ニ、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

ハ、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

姦、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

夫、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

可、懲一、無罪ヲ重罪ノ懸隔ニ

犯姦律

姦ハ、密通

ノ、密通

一、密通

犯、密通

ス、密通

一、密通

犯、密通

ス、密通

一、密通

犯、密通

ス、密通

一、密通

犯、密通

ス、密通

一、密通

犯、密通

四十七

強姦ノ罪ニ一等ヲ減ス。無ス

若シ姦合及テ容止シテ通

三年。各杖七十。夫アル者ハ各徒

凡和姦通男如思云テ密ハ

各杖七十。夫アル者ハ各徒

凡和姦通男如思云テ密ハ

各杖七十。夫アル者ハ各徒

凡和姦通男如思云テ密ハ

各杖七十。夫アル者ハ各徒

凡和姦通男如思云テ密ハ

各杖七十。夫アル者ハ各徒

凡和姦通男如思云テ密ハ

各杖七十。夫アル者ハ各徒

凡和姦通男如思云テ密ハ

各杖七十。夫アル者ハ各徒

凡和姦通男如思云テ密ハ

各杖七十。夫アル者ハ各徒

朝... 卷三

○役ト夫姪
六 年 權 ス 姪 第 京
七 衡 ル ヲ 二 都
月 = ヲ 姪 百 裁
十 有 リ ス 六 判
九 之 罪 ル 十 所
日 候 輕 者 一 伺
指 哉 キ 姪 條
令 = ハ ノ 云
何 ヲ 妻 々
ノ 現
ノ 姪 =

姦スル者ハ和ト雖モ強
ト同ク論ス。 七年五月十三日
○ 司法省布達
今般犯姦之儀ニ付左之
通り於當省議定候條此
旨可相心得候事。
一 凡姦事他人ノ指稱ニ係
ル者ハ論スル勿レ。
凡 父 祖 ノ 妻 子 孫 親 屬 相 姦
云 ヒ コ 姉 妹 弟 兄 及 ヒ 姑
云 フ コ 姉 妹 弟 兄 及 ヒ 姑
云 リ ノ ヲ 弟 兄 及 ヒ 姑

○將異猶郷蠢寮部邊七
實 和 來 ス ホ 里 愚 ル 氏 阪 年 處 出 ト テ 依 邊 崎 二 云 姦 ノ
母 歌 ヲ 可 離 異 ノ 可 ト ノ 二 置 生 叔 若 リ 國 ノ 縣 一 無 兄 姦
或 ハ 山 戒 ヲ サ ス ト 小 ラ リ 小 月 可 レ 子 母 ト 伯 法 小 伺 年 夫 弟 ス
養 同 可 レ ハ サ ス ト 小 ラ リ 小 月 可 レ 子 母 ト 伯 法 小 伺 年 夫 弟 ス
母 ト 論 ス 離 異 勿 レ 離 子 母 ト 伯 法 小 伺 年 夫 弟 ス
ト 姦 ス ル 者 減 ス 強 姦 ス ル 者 ハ 各 一 等 フ

子孫ノ婦ハヨノノ
倫云ハハヨノノ
幼ノ事ニハハヨノノ
ナキナリ兄弟ノ女ヲ姦スル者ハ各流三等強姦スル者ハ斬
若シ母ノ姊妹ヲ及ヒ
兄弟ノ妻姪ノ妻ヲ及ヒ
姦スル者ハ各流一等強姦スル者ハ絞
スル者ハ絞
フ
姦スル者ハ各一等ヲ
減ス。強姦スル者ハ絞

皇 律 卷 三

犯姦律

親屬相姦

四十九

七年置候哉
 第一條七月七日
 第二條一月七日
 第三條一月七日
 第四條一月七日
 第五條一月七日
 第六條一月七日
 第七條一月七日
 第八條一月七日
 第九條一月七日
 第十條一月七日

六年七月二十三日
 七年七月二十三日
 八年七月二十三日
 九年七月二十三日
 十年七月二十三日
 十一年七月二十三日
 十二年七月二十三日
 十三年七月二十三日
 十四年七月二十三日
 十五年七月二十三日

詐問
 係ル者ハ居喪ト否ルト
 科ス
 律

凡奴僕雇人。家長ノ妻ヲ姦スル者ハ。流三等。姦婦ハ。徒三年。強姦スル者ハ。斬。若シ家長ノ女。姉妹。及ヒ姑。若クハ兄弟ノ妻ヲ姦スル者ハ。流一等。婦女ハ。凡姦ヲ以テ論。一ト通。科。犯。強姦スル者ハ。絞。妾ヲ姦スル



者ハ各一等ヲ減ス。強姦スル者ハ絞。

姦家長妻

第二百六十二條 凡雇人家長ノ妻ヲ姦スル者ハ各懲役一年半。強姦スル者ハ懲役終身。

姦部民妻女

支配ノ下ノ民ノ妻女ヲ姦スル者ハ和云。支配ノ下ノ民ノ妻女ヲ姦スル者ハ和云。支配ノ下ノ民ノ妻女ヲ姦スル者ハ和云。

凡官吏所部内ノ妻女ヲ姦スル者ハ凡姦罪ニ二等ヲ加フ。部民ノ妻ヲ姦スル者ハ凡姦罪ニ二等ヲ加フ。部民ノ妻ヲ姦スル者ハ凡姦罪ニ二等ヲ加フ。

姦部民妻

第二百六十三條 凡官吏部民ノ妻ヲ姦スル者ハ懲役一年半。相姦スル者ハ懲役一年。

○京師判司所判衙門
 生業等判衙門
 置入場二為衙門
 置入場二為衙門
 置入場二為衙門
 置入場二為衙門
 置入場二為衙門

第二百六十五條
 凡和姦
 凡和姦
 凡和姦
 凡和姦
 凡和姦

朝
 犯姦律ハ改正ト心得可シ領ノ

同罪
 相姦スルノ人ハ並ニ

○京師判司所判衙門
 生業等判衙門
 置入場二為衙門
 置入場二為衙門
 置入場二為衙門
 置入場二為衙門

○ 輕第無七
島收二鑑年置蕩ニヲ甲
根贖百札二月何ア貪ハ
縣ヲ六ニ月、過ス乙窮ノ
同聽十シ二、ルトハノ
七、七テ日モ雖其餘
年條賣指ノモモ情、淫
二月依スア其金ヲ賣
三日違リル、平ヲ獲
指令ハ者處、素獲リ財

○ 華士族ハ破廉耻甚ヲ以
テ論^テ難^ハ文^ハ和^ノ色^ノ也
強^テ云^ニモツカノ別^ノモ
ル者ガ華族ノ身分ヲ元
除^クス其姦セラル者ハ
ナリ十五歳以下ノ者ハ
坐^ガセス若シ強姦スル者

○ 聽懲七
ヲス人四月ハハ罪不四二モハ罪囚論者ニ
○ 女役十人外役中密カニ他ノ
囚ト不知テ應為フ以論申
ト但モ不八其罪囚ト無之ニ
哉サ女ハ問日モ可有哉
○ 千^ヲ葉^ハ罪^ハ不^ハ應^ハ為^ル日^ハ指^ニ有^ル罪^ハ無^ル之^ニ哉
○ 後^ハ婦^ノ判^ス罪^ハ通^シ坐^ル知^レテ^ハ問^ハ令^ス之^ニ申^ル者^ハ未^ダ成^ラサ
○ 七^ノ月^ハ五^ノ日^ハ指^ニ令^ス之^ニ申^ル者^ハ未^ダ成^ラサ
○ 約^ト云^ハ八^ノ月^ハ五^ノ日^ハ指^ニ令^ス之^ニ申^ル者^ハ未^ダ成^ラサ
○ 論^ハ至^ル十^ノ月^ハ五^ノ日^ハ指^ニ令^ス之^ニ申^ル者^ハ未^ダ成^ラサ
○ 六^ノ條^ハ和^シ姦^ス夫^ノ情^ハ狀^ハ無^ル野^シ合^ス私^ス姦^ス者^ハ未^ダ成^ラサ

ハ、懲^ハ役^ハ十^ノ年^ハ未^ダ成^ラサ
ル者ハ一等ヲ減ス。
第^ニ百^六十^七條 凡私娼^ハ街^ノ賣^ル婦^ノ子^ハ宿^ヲハ懲^ハ役^ハ四^ノ十^ノ日^ハ婦^ノ女^ハ及^ヒ媒^ノ合^ト容^止スル者^ハ一^ノ等^ヲ減^ス。若^シ父^ノ母^ノ指^ニ令^ステ^ハ受^ル者^ハ坐^レテ^ハ罪^ヲ其^ノ父^ノ母^ノ坐^レセ^ス。凡^ノ僧^尼
第^ニ百^六十^八條 凡^ノ僧^尼

各懲役一年 森川儀内

○此及 人ハ當七 〇水 逃亡罪ハ輕シ、論セ、ス、
限ハ但ト專省年付、澤縣本年第八日指
限ハ但ト專省年付、澤縣本年第八日指
限ハ但ト專省年付、澤縣本年第八日指
限ハ但ト專省年付、澤縣本年第八日指
限ハ但ト專省年付、澤縣本年第八日指

增加 明治六年十月十七日
增加 明治六年十月十七日
增加 明治六年十月十七日
增加 明治六年十月十七日
增加 明治六年十月十七日

皇 〇心正當ルニ乳ヒリ、理縱七 〇親姦七
本年第十號判御所布達相成、右
本年第十號判御所布達相成、右
本年第十號判御所布達相成、右
本年第十號判御所布達相成、右
本年第十號判御所布達相成、右

犯姦 准テ財ヲ圖ル者ハ、枉法ニ
犯姦 准テ財ヲ圖ル者ハ、枉法ニ
犯姦 准テ財ヲ圖ル者ハ、枉法ニ
犯姦 准テ財ヲ圖ル者ハ、枉法ニ
犯姦 准テ財ヲ圖ル者ハ、枉法ニ

○本七
 依テ新非文年告サ、候罪ハ
 依テ七賣前夫ハ唱ヲ伺一再裁レ如月ルル類、ア、シ、ス、ノ
 處條婦ニハ無和憚街月伺七判ハ、キ、ニ、一、ハ、ア、シ、ス、ノ
 スニス付當夫婿ラ上五、シ所受モ十ヲ其リ本ル自
 可依ル凡省ハ會ス路日者街理亦九得親テ夫ハラ
 シル者姦本勿ト靦傍指ニ上七本日へ威告事勿告
 トハヲ年論ハ然等令付路ス夫指キ等ル故論ル
 指付例以第罪和唱ニ秋傍ノ令哉ヨ、フハ行儀待
 令犯第テ十ヲ姦和天、田等親、リ、フハ行儀待
 入姦二論三問ノ婿人縣ニ告代得獄ニテ

○ス、ト者院テ告正七
 以有遺サ本埼律異ヲ御論ハ、院年ヲ迄婦候尤ニ其代
 外夫セル夫玉ノナ云指ス、居第三以ニトト再云女リ、
 ニ本ル尚脱裁通、レ、令東喪二月論若ナアヒ々戸其
 至罪妻二籍判心ハ伺ハ京犯百七スシレル其ノ主家
 テニ及年逃所得有面結府姦七日可姦氏ニ夫御中ヲ
 犯科妾以亡伺可夫ノ婚伺ニ十指キヲ重付ヲ指有保
 スシ姦内シ、シヲ如配第付四令哉、犯テテ迎令夫督
 者若ヲニテ、以キ偶二有號、セ夫ハルニ、ヲ候
 ハシ犯在復、テハ戸條夫ノハ、ヲ一ハ伺以譯
 無二セテ歸論本主ノヲ御有迎時不ノテニ
 夫年ハ、其セ、セ條ノ正以布夫ル寡苦通論付

○不七 ○
 依東縣本夫毒殺ノ疑
 者、十、一、月、十二日指令
 問、口、置、同、月、十二日指令
 山、口、置、同、月、十二日指令
 人、妻、シ、同、月、十二日指令
 姦、通、シ、同、月、十二日指令
 知、通、シ、同、月、十二日指令
 哉、通、シ、同、月、十二日指令
 五、月、十、三、日、第十号ノノ
 他、或、ハ、訴、三、日、第十号ノノ
 シ、或、ハ、訴、三、日、第十号ノノ
 發、露、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 年、十、一、月、十、三、日、第十号ノノ
 第、一、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、二、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、三、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、四、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、五、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、六、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、七、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、八、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、九、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、

○第、七、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、八、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、九、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十一、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十二、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十三、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十四、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十五、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十六、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十七、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十八、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、十九、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、
 第、二十、條、一、取、ス、ハ、選、巡、テ、中、ノ、露、達、

皇
 律
 例
 彙
 纂
 卷
 五
 犯
 姦
 律
 十
 二
 月

犯
 姦
 五
 十
 七

朝
三
日
月
十
日
附
書
中
第

○ハモ庭共嘉指○現私所ノ財五本廿
 ノトルレ例同姦本＝事令福在婚今同現條年三
 如ハモハ私第縣罪夫於逃＝ 嶋スヲ般＝在私二日
 シ公ノ私ハ二伺ヲヨテ走因 縣ト衙左伺ス娼月
 壬私ア娼公百 間リ姦ノテ 伺雖賣ノノレヲ十
 申ノリノ＝六 ハ告情末 闘 八モ、シ、通通ハ、衙日
 年分テ外對 十 ス、訴ヲ捕毆 年追得議ト官賣附
 間別問列ス七 解＝フ＝ル條 月＝所候指レ可ル書
 放出ト公ノ云 非トキ又 七ハ財 置然所中
 令者問ナナ夫 之律因ハ出昨 ○ス丁シ妻七

之律因ハ出昨 ○ス丁シ妻七
 候、テ強＝年十愛ルヲ本妾年セ奏満且孀異姦
 依竊盜相五五知後聽夫ハ六シス刑官婦歸夫
 リ、盜ノ成月日縣ハ、ス、離滿月ムト後ノヲ宗本
 重ス事候廿ハ本孀異刑四ル雖媒斷論財夫
 ニル＝指五日 達人婦スノ日丁モ、合決セ物、各
 從者候令、日 書ノハ、後指ヲ再者ヲス、入、杖
 テハ、若姦附 七情親ハ、本令許姦ア經姦云十
 處ニシ＝フ 年願属結夫 カ夫リタヲ犯々、婦
 分罪強因以 十＝ハ婚へ、トテ、ル犯々、妻人
 可俱姦テテ 二任下ス下 ル婚官者ニ、妻人
 有發＝盜伺 月ス、付ル付 乎、孀ハ、一妾離

テ者官八
 罪ハ、廳年問ナル之ルト置為鑑ヲ下
 ヲ例ノ三ヒ之處ヲ然雖區ス札變リ
 科第免月可ヲト公ヲモ、戸ヲアシシ
 ス二許十然私レ、娼ハ、其長ヲ投テヨ
 百ヲ日哉、娼繼ト則源之得ケ、貸リ、
 六受指 ト札シ、鑑或ヲハ任ヲ札敷座以
 十ス、令 シナ律札ハ官スシナ藝所
 七賣 テキノア官ルハ、モ、モ、モ、等
 條滯 本モ問ル廳ルハ、モ、モ、モ、等
 ニス 條ノハモニ如、其、其、處、ノ、ノ、稱
 依ル 二乃サノ由シ、

皇
律
刑
集

五
犯
姦
律

犯
姦

朝
律
例
彙
纂
卷
五

皇朝律例彙纂卷五終

